

〈第 27 回〉  
危険物事故事例セミナー  
開催案内

危険物保安技術協会

平成 28 年中の危険物施設における火災・流出事故の発生件数は 571 件で、前年に比べ 11 件増加し、依然として事故発生件数は高い水準で推移しております。平成元年以降、最も事故の発生件数が少なかった平成 6 年と平成 28 年を比較すると、危険物施設数が約 25% 減少しているにもかかわらず、事故発生件数は約 2 倍に増加しています。

このような状況において、事故はなぜ起きたのか、事故の再発を防ぐにはどのように対応すべきかは、危険物施設関係者や消防職員にとって重要なテーマです。

事故原因は大きく分けて人的要因と物的要因があり、事故を防ぐにはこれらの事故を分析し、ここから得られた教訓を活かすことが、危険物施設の安全を確保する上で極めて有効であり、重要であることは言うまでもありません。しかし、個々の事故事例について原因と事故に至る経緯、そして具体的な対策等の情報を得る機会は必ずしも十分であるとは言えません。

当協会では、近年国内で発生した危険物施設における事故事例を取り上げ下記のとおり、関係事業所・消防機関から講師をお招きして、事故に至った経緯、問題点、再発防止対策等を内容としたセミナーを開催し、危険物施設における事故防止対策を推進と安全確保の一助としていただいております。

つきましては、関係の方々に広くご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1 開催日時及び場所

《東京会場》

日 時：平成 30 年 2 月 23 日(金) 13 時 00 分～16 時 40 分

場 所：科学技術館サイエンスホール (科学技術館内)

東京都千代田区北の丸公園 2-1

Tel:03-3212-8485

《大阪会場》

日 時：平成 30 年 3 月 2 日(金) 13 時 00 分～16 時 40 分

場 所：大阪科学技術センター

大阪市西区靱本町 1-8-4

Tel:06-6443-5324

2 受講対象者

消防機関等の危険物行政に携わられている方、危険物関係事業所の保安業務等に携わられている方を対象としていますが、特に制限を設けていません。

3 定員 東京会場：200名 大阪会場：200名

4 受講料 9,180円 (テキスト代・消費税を含みます。)

危険物総合情報システムのご利用登録(有料)されている方は、割引料金で受講できますので、事務局あてお問合せください。

## 5 プログラム及び講演概要

### (1) プログラム (会場時間 12:00)

時間割	講演テーマ	講師
13:00～13:05	挨拶	危険物保安技術協会
13:05～13:55	浮き屋根式屋外タンク貯蔵所における流出事故について	堺市消防局 予防部 危険物保安課 主査 宮下 裕司
13:55～14:45	危険物製造所において発生した火災について	四日市市消防本部 予防保安課 安全指導係 消防司令補 牛島 悠介
14:45～15:00	休憩	
15:00～15:50	(1) 潤滑油製造装置群火災 (2) 開放清掃中タンク火災	有田市消防本部 警防課 予防係長 東山 英幸
15:50～16:40	(1) 屋根工事中の屋外タンク貯蔵所で発生した火災 (2) 製造所ストリッパー塔からのベンゼン及びフッ化水素流出事故	川崎市消防局 予防部 危険物課 課長補佐・検査係長 渡邊 勉

### (2) 講演概要

#### 1) 浮き屋根式屋外タンク貯蔵所における流出事故について

浮き屋根式屋外タンク貯蔵所における非常排水設備からのガソリン流出事故と浮き屋根式屋外タンク貯蔵所におけるボンツーン内へのナフサ流出事故の2件について紹介します。

#### 2) 危険物製造所において発生した火災について

製造所付属配管フランジ部から漏えいした未洗浄軽油が高温部に接触し発生した火災について紹介します。

#### 3) ア 潤滑油製造装置群火災

潤滑油製造装置群付属配管の腐食穿孔部から内部流体が漏えいし、火災に至った事例について紹介します。

#### イ 開放清掃中タンク火災

クリーニングのため開放していた原油タンクの底板上の堆積スラッジから発生した火災について紹介します。

#### 4) ア 屋根工事中の屋外タンク貯蔵所で発生した火災

屋外タンク貯蔵所の屋根全面取り換え工事を行っていた際に発生した火災について紹介します。

#### イ 製造所ストリッパー塔からのベンゼン及びフッ化水素流出事故

製造所のスタートアップ開始に伴い、ストリッパー塔の入熱を始めたところ、ストリッパー頭頂部から内容物の芳香族化合物及びフッ化水素がガス状になって流出した事故について紹介します。



## <東京会場・科学技術館サイエンスホール案内図>

科学技術館 サイエンスホール

〒102-0091

東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館内

Tel : 03-3212-8485

- 地下鉄 東西線「竹橋」駅下車 1b出口から徒歩約10分  
毎日新聞社前の竹橋交差点と「竹橋」を渡って、国立近代美術館、国立公文書館を過ぎ、歩道橋の手前で右側の坂道を上ると右手に科学技術館があります。
- 地下鉄 東西線／半蔵門線／都営新宿線「九段下」駅下車 2番出口から徒歩約10分  
日本武道館方面へ歩き、日本武道館前を通り過ぎて、北の丸公園内を道に沿って進むと左手に科学技術館があります。
- 都心環状線外回り「代官町」／内回り「北の丸」出口から、車で約1分



## <大阪会場・大阪科学技術センター案内図>

大阪科学技術センター（O S T E C）

〒550-0004

大阪市西区靉本町1-8-4

Tel：06-6443-5324



- 大阪方面からのアクセス  
→地下鉄四つ橋線「本町」駅下車  
28番出口より北へ徒歩3分
- 新大阪方面からのアクセス  
→地下鉄御堂筋線「本町」駅下車  
2番出口より西へ徒歩7分
- なんば方面からのアクセス  
→地下鉄四つ橋線「本町」駅下車  
28番出口より北へ徒歩3分  
→地下鉄御堂筋線「本町」駅下車  
2番出口より西へ徒歩7分

- 御堂筋線
- 谷町線
- 四つ橋線
- 中央線
- 千日前線
- 堺筋線
- 長堀鶴見緑地線
- JR線
- 私鉄線

### ※ 駐車場について

東京会場・大阪会場とも、駐車場の準備はしていませんので、ご来場に際しましては、公共交通機関をご利用くださいますようお願い致します。

## 第27回危険物事故事例セミナー 受講申込書 兼 受講票

(ふりがな) 氏 名			
勤 務 先	名 称		
	所属部課		
	住 所	〒	
		(連絡先)TEL :	FAX :
参加会場		・東京会場 2月23日(金)      ・大阪会場 3月2日(金) (いずれかを ○で囲んでください)	
危険物総合情報システムの利用についての登録の有無 (登録されている方は、受講料が割引になります。)			有 ・ 無 (○で囲んで下さい)
* 事 務 局 用	申込受付日	受講番号	備 考

代理申請者氏名： \_\_\_\_\_ Tel： \_\_\_\_\_ Fax： \_\_\_\_\_

代理申請者とは、受講者本人に代わって受講手続を行う方を言います。受付後、代理申請者にFaxをお返しいたします。

### 【お申込み方法】

本申込書に必要事項をご記入のうえ、下記宛にFAX送信してください。

お申込みを受理后、当協会からFAXにてご連絡いたしますので、下記受講料をセミナー開催日の3日前までに下記口座へお振込みください。

(請求書、領収書の発行及び現金での受付は行いませんのでご了承ください)

お振込みの際には、ご依頼人名の前に上記受講番号を必ずご記入ください。会社名でお振込みをされる場合は、事務局までご連絡ください(入金予定日が決まりましたら、併せてお知らせください)。なお、お振込みの手数料についてはご負担をお願いします。

(お申込み、お問い合わせ先)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1F  
危険物保安技術協会 危険物事故事例セミナー事務局 (陣内、森)

TEL:03-3436-2357 FAX:03-3436-2254

銀行名：みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金  
 口座番号：2902492 (口座名：ケンブツホアングジュツキョウカイ)  
 受講料：9,180円 (テキスト代、消費税を含みます)  
 (※ 危険物総合情報システムの有料利用登録をされている方は、割引料金で受講できますので、事務局までお問い合わせください)

